

Title	UNCITRAL国際債権譲渡条約草案作業部会最終案試訳
Sub Title	Draft UNCITRAL Convention on Assignment of Receivable in International Trade : provisional translation of the final version of the UNCITRAL Working Group
Author	池田, 真朗(Ikeda, Masao) 北澤, 安紀(Kitazawa, Aki) 国際債権流動化研究会(Study Group on International Securitization Law)
Publisher	慶應義塾大学法学研究会
Publication year	2001
Jtitle	法學研究 : 法律・政治・社会 (Journal of law, politics, and sociology). Vol.74, No.3 (2001. 3) ,p.172 (61)- 232 (1)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	資料
Genre	Journal Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00224504-20010328-0172

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

資料

UNCITRAL 国際債権譲渡条約草案 作業部会最終案試訳

池田 真 朗
北 澤 安 紀

国際債権流動化法研究会

解 説

本資料は、国連国際商取引法委員会（UNCITRAL）の国際契約実務作業部会が¹⁾まとめた、「国際取引における債権譲渡に関する条約草案」作業部会最終案の原文と試訳である。²⁾

UNCITRAL では、従来から、国際取引ルールの統一化を目指して、条約やモデル法の制定作業を行ってきた。過去の代表的な作業としては、1980年採択の国際物品売買に関する条約（ウィーン条約）や、1996年発表の電子商取引モデル法等³⁾がある。UNCITRAL では、ほぼ三テーマくらいの作業部会を同時進行させるのが通例であるが、国際契約実務作業部会では、その一つとして、国際債権譲渡による資金調達の円滑化・低利化を図るための条約草案作成作業を1995年11月から続けてきた。ちなみに、ここで「国際債権譲渡」と呼ぶものには、国際債権（債権者と債務者が別の国に所在する）の国際譲渡（譲渡人と譲受人が別の国に所在する）だけでなく、国内債権の国際譲渡も、国際債権の国内譲渡も含む。また、ここでの「債権譲渡」には真正売買も担保も含まれる。本作業部会は、1995年11月のウィーン会期を皮切りに、第1回から1999年10月のウィーン会期まで計8回開かれ、⁴⁾いったん作業部会の案がとりまとめられて、2000年6月の第33回 UNCITRAL 総会（ニュ

ーヨークで開催)に諮られたのであるが、そこでは新提案等も出されたため審議が終わらず(第17条までで終了)、結局、作業部会へ差戻しとなった。そのため、2000年12月の通算第9回となる作業部会で第18条以下の部分(およびそれまでの部分の一部)の再修正をはかって、全体として作業部会の最終成案としたものが、本資料である。この最終案が、本年(2001年)6月の第34回 UNCITRAL 総会(ウィーンで開催)に再提出される予定である。

なお、この国際債権譲渡条約草案作成作業部会には、第1回から池田真朗が日本政府代表として参加している(第6回会期の後半のみ早川真一郎東北大学教授が代わって出席)。池田は、北澤安紀(国際私法)と共同担当で、1997年4月より慶應義塾大学大学院法学研究科で「国際債権流動化法」というプロジェクト科目を開講し、その主要な研究対象として、この UNCITRAL 国際債権譲渡条約草案の作成過程⁵⁾を検討してきた。そこでは、毎回の作業部会条約案および報告書の一部について、その都度試訳を作成し、内部での検討に用いてきた。本最終案については、なお2001年6月の UNCITRAL 総会で変更を受ける可能性はかなり残るものの、現時点で試訳を発表して一般の参考に供する有用性が高いと判断した次第である。なお本試訳は、2000年6月総会の前までの段階について作成された、法務省民事局付兼外務省条約局法規課の小堀悟検事作成の仮訳も参考にしているが、内容についての責任はすべて池田真朗と北澤安紀が負う。また本試訳に付された、訳語に関する注も、池田と北澤の付したものである。

本試訳作成の研究会に参加した者は以下の通りである。鈴木清貴(慶應義塾大学大学院法学研究科博士課程)、田中美智子(同)、前田美千代(同、現在サンパウロ大学留学中)、加藤雅之(同)、黒田尚樹(同修士課程)、石坂真吾(慶應義塾大学法学部生)、山本慶子(同)。(池田真朗記)

- 1) UNCITRAL (United Nations Commission on International Trade Law)は、国連総会直属の委員会の一つであるが、本部はウィーンに置かれている。そのため、作業部会は通常、一つのテーマについて年2回ほどのペースで、ウィーンと、国連本部のあるニューヨークで交互に開催される。総会は年1回で、これもウィーンとニューヨークでの交互開催となる。
- 2) Draft Convention on Assignment of Receivables in International Trade (UNCITRAL Report of the Working Group on International Contract Practices,

A/CN.9/486, Annex I)

- 3) UNCITRAL モデル法については、内田貴「電子商取引と法—UNCITRAL『電子商取引モデル法』および通産省『電子商取引環境整備研究会中間報告』を中心として 1～(4完)」NBL600号～603号(1996)参照
- 4) 途中までの概略の経緯については、池田真朗「国際債権譲渡の第三者対抗要件と UNCITRAL における動き—1997年10月会期までの中間報告として—」資産流動化研究第IV号(日本資産流動化研究所, 1998) 1頁以下。なお関連として、同「カナダにおける債権譲渡登録制度—UNCITRALでの紹介を中心に—」NBL639号17頁以下。
- 5) 本プロジェクト科目関係の研究成果として発表されたものとして、池田真朗「指名債権譲渡法理と債権流動化への学理的対応—民法解釈学方法論の角度から—」法学研究70巻12号147頁以下、同「債権譲渡禁止特約再考」法学研究72巻12号205頁以下、同「債権譲渡特例法の評価と今後の展望(上・下)」NBL656号33頁以下、657号23頁以下、北澤安紀「債権譲渡の準拠法—UNCITRALの『国際取引における債権譲渡に関する条約』草案の国際私法規定の検討を中心として—」国際法外交雑誌99巻4号1頁以下等がある。

[追記] 本稿は慶應義塾大学大学院法学研究科における大学院高度化推進費の助成を受けた研究成果である。

A/CN.9/486, Annex I

Draft Convention on Assignment of Receivables in International Trade

Contents

Preamble

1. Scope of Application (§§ 1-4)
2. General provisions (§§ 5-7)
3. Effects of assignment (§§ 8-12)
4. Rights, obligations and defences
 - (1) Assignor and assignee (§§ 13-16)
 - (2) Debtor (§§ 17-23)
 - (3) Other parties (§§ 24-27)
5. Autonomous conflict-of-laws rules (§§ 28-33)
6. Final provisions (§§ 34-47)

Annex to the draft convention

- (1) Priority rules based on registration (§ 1, § 2)
- (2) Registration (§§ 3-5)
- (3) Priority rules based on the time of the contract of assignment (§ 6, § 7)
- (4) Priority rules based on the time of the notification of assignment (§ 8, § 9)

A/CN.9/486, Annex I

国際取引における債権譲渡 に関する条約草案

目次

前文

- 第1章 適用範囲 (1条—4条)
- 第2章 総則 (5条—7条)
- 第3章 譲渡の効果 (8条—12条)
- 第4章 権利、義務及び抗弁
 - 第1節 譲渡人及び譲受人 (13条—16条)
 - 第2節 債務者 (17条—23条)
 - 第3節 他の当事者 (24条—27条)
- 第5章 条約固有の抵触規定 (28条—33条)
- 第6章 最終条項 (34条—47条)

附属書

- 第1部 登録に基づく優先関係の規則 (1条・2条)
- 第2部 登録 (3条—5条)
- 第3部 譲渡契約の時に基づく優先関係の規則 (6条・7条)
- 第4部 譲渡通知の時に基づく優先関係の規則 (8条・9条)

Preamble

The Contracting States,
Reaffirming their conviction that international trade on the basis of equality and mutual benefit is an important element in the promotion of friendly relations among States,

Considering that problems created by uncertainties as to the content and the choice of legal regime applicable to the assignment of receivables constitute an obstacle to international trade,

Desiring to establish principles and to adopt rules relating to the assignment of receivables that would create certainty and transparency and promote the modernization of the law relating to assignments of receivables, while protecting existing assignment practices and facilitating the development of new practices,

Desiring also to ensure adequate protection of the interests of debtors in assignments of receivables,

Being of the opinion that the adoption of uniform rules governing the assignment of receivables

前文

締約国は、

平等及び相互の利益に基礎を置く国際取引が国家間の友好な関係を促進する重要な要素であるとの確信を再認識し、

債権譲渡に適用されうる法制度の内容及び選択に関する不明確性によってもたらされる問題が国際取引の障害になっていることを考慮し、

既存の譲渡の実務を保護し、新しい実務の発展を円滑にしながら、明確性及び透明性を創出し債権譲渡に関する法律の近代化を促進する債権譲渡に関する原則を確立し、かつその規則を採択することを希望し、

債権譲渡における債務者の利益の適切な保護を確保することも希望し、

債権譲渡を規律する統一法の採択が、より好適な利率による資本及び与信の獲得を促進し、国際取引の発展を円滑

would promote the availability of capital and credit at more affordable rates and thus facilitate the development of international trade,

Have agreed as follows:

Chapter I

Scope of application

Article 1 Scope of application

1. This Convention applies to:

(a) Assignments of international receivables and to international assignments of receivables as defined in this chapter, if, at the time of the conclusion of the contract of assignment, the assignor is located in a Contracting State; and

(b) Subsequent assignments provided that any prior assignment is governed by this Convention.

2. This Convention applies to subsequent assignments that satisfy the criteria set forth in paragraph 1 (a) of this article, even if it did not apply to any prior assignment of the same receivable.

3. This Convention does not affect the rights and obligations of the debtor unless, at the time of the conclusion of the original contract, the debtor is located in a Contract-

にするとの見解に立ち、

以下のとおり合意した。

第1章 適用範囲

第1条 適用範囲

1. この条約は次の譲渡に適用される。

(a) この章で定める国際的債権の譲渡及び債権の国際的譲渡であって、譲渡契約を締結した時に譲渡人が締約国に所在するもの

(b) いずれかの先行譲渡にこの条約が適用される場合の後続譲渡

2. この条約は、先行譲渡にこの条約が適用されない場合であっても、同一の債権の前項(a)の規準を満たす後続譲渡に適用される。

3. この条約は、原因契約を締結する時に、債務者が締約国に所在せず又は原因契約を規律する法律が締約国法でない場合には、債務者の権利及び義務に影響を及ぼさない。

ing State or the law governing the original contract is the law of a Contracting State.

4. The provisions of chapter V apply to assignments of international receivables and to international assignments of receivables as defined in this chapter independently of paragraphs 1 and 2 of this article. However, those provisions do not apply if a State makes a declaration under article 39.

5. The provisions of the annex to this Convention apply as provided in article 42.

Article 2 Assignment of receivables

For the purpose of this Convention:

(a) “Assignment” means the transfer by agreement from one person (“assignor”) to another person (“assignee”) of all or part of or an undivided interest in the assignor’s contractual right to payment of a monetary sum (“receivable”) from a third person (“the debtor”). The creation of rights in receivables as security for indebtedness or other obligation is deemed to be a transfer;

4. 第5章の規定は、第1項及び第2項とは独立して、この章に定められる国際的債権の譲渡及び債権の国際的譲渡に適用される。ただし、第39条に基づき締約国が宣言を行っている場合は、この限りでない。

5. この条約の附属書の適用については、第42条に定める。

第2条 債権の譲渡

この条約の適用上、

(a) 「譲渡」とは、一方（「譲渡人」）から他方（「譲受人」）に対し、譲渡人の第三者（「債務者」）に対する契約上の金銭支払請求権（「債権」）を全部若しくは一部又は利息と不可分に合意によって移転することをいう。負債その他の義務の担保としての権利の設定は、移転とみなす。

(b) In the case of an assignment by the initial or any other assignee (“subsequent assignment”), the person who makes that assignment is the assignor and the person to whom that assignment is made is the assignee.

Article 3 Internationality

A receivable is international if, at the time of the conclusion of the original contract, the assignor and the debtor are located in different States. An assignment is international if, at the time of the conclusion of the contract of assignment, the assignor and the assignee are located in different States.

Article 4 Exclusions

1. This Convention does not apply to assignments made:

(a) Made to an individual for his or her personal, family or household purposes;

(b) Made by the delivery of a negotiable instrument, with an endorsement, if necessary;

(c) Made as part of the sale, or change in the ownership or the legal status of the business out of which

(b) 最初の又はその他の譲受人による譲渡（「後続譲渡」）においては、譲渡する者を譲渡人といい、譲渡される者を譲受人という。

第3条 国際性

債権は、原因契約の締結の時に譲渡人及び債務者が異なる国に所在する場合に国際的なものとする。譲渡は、譲渡契約の締結の時に譲渡人及び譲受人が異なる国に所在する場合に国際的なものとする。

第4条 適用除外

1. この条約は、次の譲渡には適用しない。

(a) 個人的、家族的又は日常的な目的のため個人に対してされる譲渡

(b) 裏書が必要な場合には、それがされた流通証券の交付による譲渡

(c) 譲渡される債権が発生した営業の売買又は所有形態若しくは法的地位の変更の一部としてされる譲渡

the assigned receivables arose.

2. This Convention does not apply to assignments of receivables arising under or from:

(a) Transactions on a regulated exchange;

(b) Financial contracts governed by netting agreements, except a receivable owed on the termination of all outstanding transactions;

(c) Bank deposits;

(d) Inter-bank payment systems, inter-bank payment agreements or investment securities settlement systems;

(e) A letter of credit or independent guarantee;

(f) The sale, loan or holding of or agreement to repurchase investment securities.

3. This Convention does not:

(a) Affect whether a property right in real estate confers a right in a receivable related to that real estate or determine the priority of such a right in the receivable with respect to the competing right of an assignee of the receivable; or

(b) Make lawful the acquisition of property rights in real estate not permitted under the law of the

2. この条約は、次の債権の譲渡には適用しない。

(a) 規制された取引所における取引から生ずる債権

(b) ネットティング合意に規律される金融契約から生ずる債権。ただし、すべての未決済の取引の終了により生ずる債権を除く。

(c) 銀行預金債権

(d) 銀行間の支払いのシステム若しくは合意又は投資証券の決済のシステムの下での債権

(e) 信用状又は独立信用保証の下の債権

(f) 投資証券の売買、貸借若しくは保有又は買戻しの合意から生ずる債権

3. この条約は、

(a) 不動産に関する財産権がその不動産に関連する債権上に権利を含むかに影響を及ぼさず、又はその債権の譲受人の競合する権利に関する当該債権上の権利の優先権を決定しない。

(b) 不動産が所在する国の法により許可されない不動産に関する財産権の取得を合法化するものではない。

State where the real estate is located.

[4. This Convention does not apply to assignments listed in a declaration made under article 41 by the State in which the assignor is located, or with respect to the provisions of this Convention that deal with the rights and obligations of the debtor, by the State in which the debtor is located or the State whose law is the law governing the original contract.]

Chapter II

General provisions

Article 5 Definitions and rules of interpretation

For the purposes of this Convention:

(a) “Original contract” means the contract between the assignor and the debtor from which the assigned receivable arises;

(b) “Existing receivable” means a receivable that arises upon or before the conclusion of the contract of assignment and “future receivable” means a receivable that arises after the conclusion of the contract of assignment;

[4. この条約は、譲渡人が所在する国（債務者の権利及び義務に関する条項については、債務者が所在する国又はその国の法律が原因契約を規律する法律である国）が第41条に基づき行う宣言において掲げる譲渡には適用しない。]

第2章 総則

第5条 定義及び解釈の原則

この条約において、

(a) 「原因契約」とは、譲渡される債権が発生する、譲渡人と債務者との間の契約をいう。

(b) 「既存債権」とは、譲渡契約の締結の時以前に発生する債権をいい、「将来債権」とは、譲渡契約の締結の時より後に発生する債権をいう。

(c) “Writing” means any form of information that is accessible so as to be usable for subsequent reference. Where this Convention requires a writing to be signed, that requirement is met if, by generally accepted means or a procedure agreed to by the person whose signature is required, the writing identifies that person and indicates that person’s approval of the information contained in the writing;

(d) “Notification of the assignment” means a communication in writing that reasonably identifies the assigned receivables and the assignee;

(e) “Insolvency administrator” means a person or body, including one appointed on an interim basis, authorized in an insolvency proceeding to administer the reorganization or liquidation of the assignor’s assets or affairs;

(f) “Insolvency proceeding” means a collective judicial or administrative proceeding, including an interim proceeding, in which the assets and affairs of the assignor are subject to control or supervision by a court or other competent

(c) 「書面」とは、後の参照の用に供することのできる情報のあらゆる形式をいう。この条約において、書面に署名を要求している場合、その書面が、一般的に受容される方法又は当該署名を要求される者が同意した手続により、署名者を特定し、かつ書面に含まれる情報への署名者の承認を示すものであるときは、その要求は満たされるものとする。

(d) 「譲渡通知」とは、書面による通信であって、譲渡される債権及び譲受人を合理的に特定するものをいう。

(e) 「倒産管財人」とは、倒産手続において、譲渡人の財産若しくは事業の再建又は清算を管理する権限を付与された人又は機関をいい、仮に選任された者を含む。

(f) 「倒産手続」とは、集団的な司法又は行政手続（暫定的な手続を含む。）であって、譲渡人の財産及び事業が再建又は清算の目的のために裁判所その他の権限を有する機関の指揮又は監督に服するものをいう。

authority for the purpose of reorganization or liquidation;

(g) “Priority” means the right of a party in preference to another party;

(h) A person is located in the State in which it has its place of business. If the assignor or the assignee has places of business in more than one State, the place of business is that place where the central administration of the assignor or the assignee is exercised. If the debtor has places of business in more than one State, the place of business is that which has the closest relationship to the original contract. If a person does not have a place of business, reference is to be made to the habitual residence of that person;

(i) “Law” means the law in force in a State other than its rules of private international law;

(j) “Proceeds” means whatever is received in respect of an assigned receivable, whether in total or partial payment or other satisfaction of the receivable. The term includes whatever is received in respect of proceeds. The term

(g) 「優先権」とは、他の当事者に優先する当事者の権利をいう。

(h) 人は、その営業所を有する国に所在するものとする。譲渡人又は譲受人が二以上の国に営業所を有する場合は、営業所は、譲渡人又は譲受人の中央統括が行われる所とする。債務者が二以上の国に営業所を有する場合は、営業所は、原因契約に最も密接な関連を有する所とする。人が営業所を持たない場合には、その常居所による。

(i) 「法律」とは、ある国において効力を有する法律であって、国際私法の規則ではないものをいう。

(j) 「proceeds (代価) (注1)」とは、譲渡される債権に関して受け取られるあらゆるものをいい、全部若しくは一部の支払であるか又はその他の弁済態様であるかを問わない。proceeds に関して受け取られるあらゆるものを含むが、返却された物品を含ま

does not include returned goods;

(k) "Financial contract" means any spot, forward, future, option or swap transaction involving interest rates, commodities, currencies, equities, bonds, indices or any other financial instrument, any repurchase or securities lending transaction and any other transaction similar to any transaction referred to above entered into in financial markets and any combination of the transactions mentioned above;

(l) "Netting agreement" means an agreement that provides for one or more of the following:

- (i) The net settlement of payments due in the same currency on the same date whether by novation or otherwise;
- (ii) Upon the insolvency or other default by a party, the termination of all outstanding transactions at their replacement or fair market values, conversion of such sums into a single currency and netting into a single payment by one party to the other; or

ない。

(k) 「金融契約」とは、直物取引、先物取引、オプション取引又はスワップ取引であって、利率、商品、通貨、株式、社債、指数、その他の金融手段を伴うもの、買戻し又は証券貸借の取引その他類似の取引であって金融市場に入るもの及びこれらの取引を組み合わせたものをいう。

(l) 「ネットティング合意」とは、次のいずれかを可能とする合意をいう。

- (i) 更改その他の方法による同一日に同一通貨により満期となる支払のネット決済
- (ii) 当事者の倒産その他の債務不履行 (default) の場合における、入れ替え又は公正な市場の価値によるすべての未決済の取引の終了、未決済の取引額の単一通貨への両替及びある者から他の者への単一の支払へのネット

(iii) The set-off of amounts calculated as set forth in subparagraph (l) (ii) of this article under two or more netting agreements;

(m) “Competing claimant” means:

(i) Another assignee of the same receivable from the same assignor, including a person who, by operation of law, claims a right in the assigned receivable as a result of its right in other property of the assignor, even if that receivable is not an international receivable and the assignment to that assignee is not an international assignment;

(ii) A creditor of the assignor;
or

(iii) The insolvency administrator.

Article 6 Party autonomy

Subject to article 21, the assignor, the assignee and the debtor may derogate from or vary by agreement provisions of this Convention relating to their respective rights and

(iii) 二以上のネットティング合意により、前項のもとで見込まれる算出額の相殺

(m) 「競合する権利主張者」とは、次の者をいう。

(i) 同一譲渡人からの同一債権に関する別の譲受人。ただし、譲渡人のその他の財産に対する権利に基づいて、譲渡された債権に対する権利を法律上当然に主張する者も含む。債権が国際的ではない場合及びその譲受人への譲渡が国際譲渡ではない場合においても同様である。

(ii) 譲渡人の債権者。

(iii) 倒産管財人

第6条 当事者自治

第21条の規定に従うほか、譲渡人、譲受人及び債務者は、それぞれの権利及び義務に関するこの条約の条項を合意によって排除又は変更することができる。その合意は、当該合意の当事者

obligations. Such an agreement does not affect the rights of any person who is not a party to the agreement.

Article 7 Principles of interpretation

1. In the interpretation of this Convention, regard is to be had to its object and purpose as set forth in the preamble, to its international character and to the need to promote uniformity in its application and the observance of good faith in international trade.

2. Questions concerning matters governed by this Convention that are not expressly settled in it are to be settled in conformity with the general principles on which it is based or, in the absence of such principles, in conformity with the law applicable by virtue of the rules of private international law.

Chapter III
Effects of assignment

Article 8 Form of assignment

An assignment is valid as to form if it meets the form requirements, if any form requirements exist, of

以外の者の権利に影響を及ぼさない。

第 7 条 解釈の原則

1. この条約の解釈にあたっては、前文に示されたその目的及び趣旨、その国際的性格並びにその適用の統一を促進する必要性及び国際取引における信義の遵守を考慮するものとする。

2. この条約の規律する事項であってこの条約により明示的に解決されない問題は、この条約の基礎となる一般原則に従い、一般原則がない場合には、国際私法の規則による準拠法に従って解決するものとする。

第 3 章 譲渡の効果

第 8 条 譲渡の形式

譲渡は、形式要件が存する場合において、譲渡人が所在する国の法又は国際私法の規則による準拠法の形式要件

either the law of the State in which the assignor is located or any other law applicable by virtue of the rules of private international law.

Article 9 Effectiveness of assignments, bulk assignments, assignments of future receivables and partial assignments

1. An assignment of one or more existing or future receivables and parts of or undivided interests in receivables is effective as between the assignor and the assignee, as well as against the debtor, whether the receivables are described:

(a) Individually as receivables to which the assignment relates; or

(b) In any other manner, provided that they can, at the time of the assignment or, in the case of future receivables, at the time of the conclusion of the original contract, be identified as receivables to which the assignment relates.

2. Unless otherwise agreed, an assignment of one or more future receivables is effective without a new act of transfer being required to assign each receivable.

3. Except as provided in paragraph

を満たすときには、形式に関して有効とする。

第9条 一括譲渡、将来債権の譲渡及び部分的譲渡の効力

1. 既存の若しくは将来の債権であつて、一又は複数の及びその一部のもの又は不可分の利息の譲渡は、次の場合に、譲渡人と譲受人の間において及び債務者に対して、効力を有する。

(a) 譲渡に関連する債権として個別に特定されている場合

(b) その他の方法により、譲渡の時（将来債権については、原因契約の締結の時）に譲渡に関連する債権であることが特定することができる場合

2. 一又は複数の将来債権の譲渡は、別段の合意がない限り、個別の債権の譲渡に必要な新たな移転の行為なしに効力を有する。

3. 第1項、第11条並びに第12条第2

1 of this article and in articles 11 and 12, paragraphs 2 and 3, this Convention does not affect any limitations on assignment arising from law.

4. An assignment of a receivable is not ineffective against, and the right of an assignee may not be denied priority with respect to the right of, a competing claimant, solely because law other than this Convention does not generally recognize an assignment described in paragraph 1 of this article.

Article 10 Time of assignment

Without prejudice to the right of a competing claimant, an existing receivable is transferred and a future receivable is deemed to be transferred at the time of the conclusion of the contract of assignment, unless the assignor and the assignee have specified a later time.

Article 11 Contractual limitations on assignments

1. An assignment of a receivable is effective notwithstanding any agreement between the initial or any subsequent assignor and the

項及び第3項に定める場合を除き、この条約は、法律による譲渡の制限に影響を及ぼさない。

4. この条約を除く法律が一般的に第1項の譲渡を認めないことのみをもって、債権の譲渡は競合する権利主張者に対して効力を失わず、譲受人の権利は、競合する権利主張者の権利に関するそれらの者に対する優先権を否定されない。

第10条 譲渡の時

既存の債権及び将来債権は、譲渡人及び譲受人が後の時を指定した場合を除き、譲渡契約の締結時に移転するものとする。ただし、競合する権利主張者の権利を妨げない。

第11条 譲渡に関する契約による制限

1. 最初の又は後続の譲渡人と債務者又は後続の譲受人との間の、譲渡人の債権を譲渡する譲渡人の権利を制限する合意にかかわらず、債権の譲渡は効

debtor or any subsequent assignee limiting in any way the assignor's right to assign its receivables.

2. Nothing in this article affects any obligation or liability of the assignor for breach of such an agreement, but the other party to such agreement may not avoid the original contract or the assignment contract on the sole ground of that breach. A person who is not party to such an agreement is not liable on the sole ground that it had knowledge of the agreement.

3. This article applies only to assignments of receivables:

(a) Arising under an original contract for the supply or lease of [goods,] construction or services other than financial services or for the sale or lease of real estate;

(b) Arising under an original contract for the sale, lease or licence of industrial or other intellectual property or other information;

(c) Representing the payment obligation for a credit card transaction; or

(d) Owed to the assignor upon net settlement of payments due pursuant to a netting agreement

力を有する。

2. この条の規定は、前項の合意についての違反に対する譲渡人の義務又は責任に影響を及ぼさない。ただし、譲渡人以外のその合意の当事者は、その違反のみを理由として原因契約又は譲渡契約を取り消すことができない。前項の合意の当事者以外の者は、その合意を知っていたことのみを原因として責任を負わない。

3. この条の規定は、次の債権の譲渡にのみ適用する。

(a) [物品] の供給若しくは賃貸借、建設、金融サービスを除くサービス又は不動産の売買若しくは賃貸借を目的とする原因契約から生じる債権

(b) 工業その他の知的財産権若しくは知的な情報の売買、賃貸借又は使用許諾を目的とする原因契約から生じる債権

(c) クレジットカード取引に基づく支払義務の立替払いによる債権

(d) 三以上の者によるネットティング合意に従う、満期の支払のネット決済に基づく譲渡人の債権

involving more than two parties.

Article 12 Transfer of security rights

1. A personal or property right securing payment of the assigned receivable is transferred to the assignee without a new act of transfer. If such a right, under the law governing it, is transferable only with a new act of transfer, the assignor is obliged to transfer such right and any proceeds to the assignee.

2. A right securing payment of the assigned receivable is transferred under paragraph 1 of this article notwithstanding any agreement between the assignor and the debtor or other person granting the right, limiting in any way the assignor's right to assign the receivable or the right securing payment of the assigned receivable.

3. Nothing in this article affects any obligation or liability of the assignor for breach of any agreement under paragraph 2 of this article, but the other party to that agreement may not avoid the original contract or the assignment contract

第12条 担保権の移転

1. 譲渡される債権の支払を担保する人的又は物的権利は、新たな移転行為なくして譲受人に移転する。その権利が、それを規律する法律に基づき、新たな移転行為によつてのみ移転し得る場合には、譲渡人は譲受人に当該権利及び proceeds を移転する義務を負う。

2. 譲渡される債権の支払を担保する権利は、譲渡人と債務者又は当該権利への担保設定者との間でなされる、当該債権又は当該債権の支払を担保する権利を譲渡する譲渡人の権利を制限するいかなる合意に関わらず、前項の規定に従い移転される。

3. この条の規定は、前項に基づくいかなる合意についての違反に対する譲渡人の義務又は責任に影響を及ぼさない。ただし、譲渡人以外のその合意の当事者は、その違反のみを理由として原因契約又は譲渡契約を取り消すことができない。前項の合意の当事者以外

on the sole ground of that breach. A person who is not a party to such an agreement is not liable on the sole ground that it had knowledge of the agreement.

4. Paragraphs 2 and 3 of this article apply only to assignments of receivables:

(a) Arising from an original contract for the supply or lease of [goods,] construction or services other than financial services or for the sale or lease of real estate;

(b) Arising from an original contract for the sale, lease or licence of industrial or other intellectual property or other information;

(c) Representing the payment obligation for a credit card transaction; or

(d) Owed to the assignor upon net settlement of payments due pursuant to a netting agreement involving more than two parties.

5. The transfer of a possessory property right under paragraph 1 of this article does not affect any obligations of the assignor to the debtor or the person granting the property right with respect to the property transferred existing under the law

の者は、その合意を知っていたことのみを原因として責任を負わない。

4. 第2項及び前項の規定は、次の債権の譲渡にのみ適用される。

(a) [物品] の供給若しくは賃貸借、建設、金融サービスを除くサービス又は不動産の売買若しくは賃貸借を目的とする原因契約から生じる債権

(b) 工業その他の知的財産権若しくは知的な情報の売買、賃貸借又は使用許諾を目的とする原因契約から生じる債権

(c) クレジットカード取引に基づく支払義務の立替払いによる債権

(d) 三以上の者によるネットティング合意に従う、満期の支払のネット決済に基づく譲渡人の債権

5. 第1項に基づく物的権利の移転は、移転される物に関しその物的権利を規律する法律に基づいて存在する、譲渡人の譲受人又は担保権設定者に対する義務に影響を及ぼさない。

governing that property right.

6. Paragraph 1 of this article does not affect any requirement under rules of law other than this Convention relating to the form or registration of the transfer of any rights securing payment of the assigned receivable.

Chapter IV

Rights, obligations and defences

Section I

Assignor and assignee

Article 13 Rights and obligations of the assignor and the assignee

1. The mutual rights and obligations of the assignor and the assignee arising from their agreement are determined by the terms and conditions set forth in that agreement, including any rules or general conditions referred to therein.

2. The assignor and the assignee are bound by any usage to which they have agreed and, unless otherwise agreed, by any practices they have established between themselves.

3. In an international assignment, the assignor and the assignee are

6. 第1項の規定は、譲渡される債権の支払を担保する権利の移転の形式又は登録に関するこの条約を除く法律の規則による要件に影響を及ぼさない。

第4章 権利、義務及び抗弁

第1節 譲渡人及び譲受人

第13条 譲渡人及び譲受人の権利及び義務

1. 譲渡人と譲受人との合意から生ずる相互の権利及び義務は、当該合意中で言及された規則又は一般条項を含め、その合意により定められた条項及び条件により決定される。

2. 譲渡人及び譲受人は、合意した慣習及び別段の合意がある場合を除き、譲渡人と譲受人との間で確立されたあらゆる慣行に拘束される。

3. 国際的譲渡においては、譲渡人及び譲受人は、別段の合意がある場合を

considered, unless otherwise agreed, to have implicitly made applicable to the assignment a usage that in international trade is widely known to, and regularly observed by, parties to the particular type of assignment or the assignment of the particular category of receivables.

Article 14 Representations of the assignor

1. Unless otherwise agreed between the assignor and the assignee, the assignor represents at the time of the conclusion of the contract of assignment that:

(a) The assignor has the right to assign the receivable;

(b) The assignor has not previously assigned the receivable to another assignee; and

(c) The debtor does not and will not have any defences or rights of set-off.

2. Unless otherwise agreed between the assignor and assignee, the assignor does not represent that the debtor has, or will have, the ability to pay.

除き、国際取引において広く知られ、特定の種類の譲渡又は特定の種類の債権の譲渡の当事者に通常遵守されている慣習を黙示にその譲渡に適用したものとす。

第14条 譲渡人の表示

1. 譲渡人と譲受人との間で別段の合意のない限り、譲渡人は譲渡契約の締結の時に次の事項を表示する。

(a) 譲渡人が債権を譲渡する権利を有すること

(b) 譲渡人がこれまで他の譲受人に債権を譲渡したことがないこと

(c) 債務者が抗弁又は相殺権を有さず、将来も有しないであろうこと

2. 譲渡人と譲受人との間で特段の合意のない限り、譲渡人は債務者が支払い能力を有するか、又は有するであろうことは表示しない。

Article 15 Right to notify the debtor

1. Unless otherwise agreed between the assignor and the assignee, the assignor or the assignee or both may send the debtor notification of the assignment and payment instructions, but after notification has been sent only the assignee may send such an instruction.

2. Notification of the assignment or payment instructions sent in breach of any agreement referred to in paragraph 1 of this article are not ineffective for the purposes of article 19 by reason of such breach. However, nothing in this article affects any obligation or liability of the party in breach of such an agreement for any damages arising as a result of the breach.

Article 16 Right to payment

1. As between the assignor and the assignee, unless otherwise agreed and whether or not notification of the assignment has been sent:

(a) If payment in respect of the assigned receivable is made to the assignee, the assignee is entitled to retain the proceeds and goods retur-

第15条 債務者へ通知する権利

1. 譲渡人と譲受人との間で特段の合意のない限り、譲渡人、譲受人又はその双方は、債務者に譲渡通知及び支払指示を送付することができる。ただし、通知が送付された後は、譲受人のみがその指示を送付することができる。

2. 前項に規定する合意に反して送付された譲渡通知又は支払請求は、第19条の適用上、当該違反を理由として無効とされない。ただしこの条の規定は、その違反によって生じた損害に関する当事者の義務又は責任に影響を及ぼさない。

第16条 支払請求権

1. 譲渡人と譲受人との間で別段の合意がない限り、譲渡通知が送付されたか否かにかかわらず、譲受人は次の権利を有する。

(a) 譲渡された債権に関する支払が譲受人に対してされる場合、その譲渡された債権に関する proceeds 及び返却された物品を保持する権利

ned in respect of the assigned receivable;

(b) If payment in respect of the assigned receivable is made to the assignor, the assignee is entitled to payment of the proceeds and also to goods returned to the assignor in respect of the assigned receivable; and

(c) If payment in respect of the assigned receivable is made to another person over whom the assignee has priority, the assignee is entitled to payment of the proceeds and also to goods returned to such person in respect of the assigned receivable.

2. The assignee may not retain more than the value of its right in the receivable.

Section II

Debtor

Article 17 Principle of debtor protection

1. Except as otherwise provided in this Convention, an assignment does not, without the consent of the debtor, affect the rights and obligations of the debtor, including the payment terms contained in the

(b) 譲渡された債権に関する支払が譲渡人に対してされる場合、その債権に関する proceeds の支払に対する権利及び譲渡人に返却された物品に対する権利

(c) 譲渡された債権の支払が譲受人が優先権を有する第三者に対してされる場合、その債権に関する proceeds の支払及び第三者へ返却された物品に対する権利

2. 譲受人は、債権に関する権利の価値以上のものを保持することができない。

第2節 債務者

第17条 債務者保護の原則

1. この条約に別段の定めのない限り、譲渡は、債務者の同意なしに、原因契約に定められた支払方法を含む債務者の権利及び義務に影響を及ぼさない。

original contract.

2. A payment instruction may change the person, address or account to which the debtor is required to make payment, but may not:

(a) Change the currency of payment specified in the original contract; or

(b) Change the State specified in the original contract in which payment is to be made to a State other than that in which the debtor is located.

Article 18 Notification of the debtor

1. Notification of the assignment or a payment instruction is effective when received by the debtor if it is in a language that is reasonably expected to inform the debtor about its contents. It is sufficient if notification of the assignment or a payment instruction is in the language of the original contract.

2. Notification of the assignment or a payment instruction may relate to receivables arising after notification.

3. Notification of a subsequent

2. 支払指示は、債務者が支払うべき者、住所又は口座を変更することができる。ただし、次の変更をすることはできない。

(a) 原因契約で定められる支払通貨の変更

(b) 原因契約で定められた支払をするべき国から債務者が所在する国とは異なる国への変更

第18条 債務者の通知

1. 譲渡通知又は支払指示は、その内容が債務者に通知されることが合理的に期待される言語でされた場合は、債務者によって受領された時に効力を有する。譲渡通知又は支払指示が原因契約の言語による場合には、前段の言語でされたものとする。

2. 譲渡通知又は支払請求は、通知後に生ずる債権に関するものも許容される。

3. 後続譲渡の通知は、あらゆるそれ

assignment constitutes notification of all prior assignments.

Article 19 Debtor's discharge by payment

1. Until the debtor receives notification of the assignment, the debtor is entitled to be discharged by paying in accordance with the original contract.
2. After the debtor receives notification of the assignment, subject to paragraphs 3 to 8 of this article, the debtor is discharged only by paying the assignee or, if otherwise instructed in the notification of the assignment or subsequently by the assignee in a writing received by the debtor, in accordance with such payment instruction.
3. If the debtor receives more than one payment instruction relating to a single assignment of the same receivable by the same assignor, the debtor is discharged by paying in accordance with the last payment instruction received from the assignee before payment.
4. If the debtor receives notification of more than one assignment of the same receivable made by the same

以前の譲渡の通知となる。

第19条 債務者の支払による免責

1. 債務者は、譲渡通知を受けるまでの間、原因契約に従った支払により免責される。
2. 債務者は、譲渡通知を受領した後は、第3項及び第8項に従い、譲受人に対する支払によってのみ免責される。ただし、譲渡通知又はその後の譲受人による書面であって債務者がこれを受け取ったものに別段の指示がある場合は、当該指示に従った支払による。
3. 債務者が同一譲渡人による同一債権の単一譲渡に関する二以上の支払指示を受け取った場合には、債務者は支払前に譲受人から受け取った最後の支払指示に従う支払により免責される。
4. 債務者が同一譲渡人による同一債権の二以上の譲渡に関する通知を受け取った場合には、債務者は、最初に受

assignor, the debtor is discharged by paying in accordance with the first notification received.

5. If the debtor receives notification of one or more subsequent assignments, the debtor is discharged by paying in accordance with the notification of the last of such subsequent assignments.

6. If the debtor receives notification of the assignment of a part of or an undivided interest in one or more receivables, the debtor is discharged by paying in accordance with the notification or in accordance with this article as if the debtor had not received the notification. If the debtor pays in accordance with the notification, the debtor is discharged only to the extent of the part or undivided interest paid.

7. If the debtor receives notification of the assignment from the assignee, the debtor is entitled to request the assignee to provide within a reasonable period of time adequate proof that the assignment from the initial assignor to the initial assignee and any intermediate assignment have been made and, unless the assignee does so, the

け取った通知に従う支払により免責される。

5. 債務者が一又は複数の後続譲渡の通知を受け取った場合には、債務者は、最後の後続譲渡についての通知に従う支払により免責される。

6. 債務者が、一又は複数の債権における部分又は不可分の利息に関する譲渡通知を受け取った場合には、その通知又は債務者が通知を受け取っていないものとするこの条に従った支払により免責される。債務者が通知に従って支払をした場合には支払われた部分又は不可分の利息の範囲でのみ免責される。

7. 債務者が譲受人から譲渡通知を受けた場合には、債務者は第一譲渡人から第一譲受人への譲渡及び全ての中間の譲渡に関する適切な証拠を合理的な期間内に求めることができる。譲受人がこれを提出しないときは、債務者は、譲受人からの通知を受けなかったものとしてこの条に従った支払により免責される。適切な証拠には、譲渡人が作成した書面であって譲渡が行われたこ

debtor is discharged by paying in accordance with this article as if the notification from the assignee had not been received. Adequate proof of an assignment includes but is not limited to any writing emanating from the assignor and indicating that the assignment has taken place.

8. This article does not affect any other ground on which payment by the debtor to the person entitled to payment, to a competent judicial or other authority, or to a public deposit fund discharges the debtor.

*Article 20 Defences and rights
of set-off of the debtor*

1. In a claim by the assignee against the debtor for payment of the assigned receivables, the debtor may raise against the assignee all defences and rights of set-off arising from the original contract, or any other contract that was part of the same transaction, of which the debtor could avail itself if such claim were made by the assignor.

2. The debtor may raise against the assignee any other right of set-off, provided that it was available to the

とを示すものを含むが、これに限るものではない。

8. この条の規定は、支払を受け取る権限のある者、管轄権を有する裁判所若しくはその他の機関又は公的な供託機関に対する支払により債務者が免責される他のいかなる事由にも影響を及ぼさない。

第20条 債務者の抗弁及び相殺

1. 譲受人の債務者に対する譲渡される債権の支払に関する請求について、債務者は、譲受人に対し、原因契約又は同一の取引の一部である他の契約から生ずるすべての抗弁及び相殺の権利であって、譲渡人から請求された場合に主張し得るものを主張することができる。

2. 債務者は譲受人に対し、譲渡通知を受け取った時に主張することができた他のいかなる相殺権を主張すること

debtor at the time notification of the assignment was received.

3. Notwithstanding paragraphs 1 and 2 of this article, defences and rights of set-off that the debtor may raise pursuant to article 11 against the assignor for breach of agreements limiting in any way the assignor's right to assign its receivables are not available to the debtor against the assignee.

Article 21 Agreement not to raise defences or rights of set-off

1. Without prejudice to the law governing the protection of the debtor in transactions made for personal, family or household purposes in the State in which the debtor is located, the debtor may agree with the assignor in a writing signed by the debtor not to raise against the assignee the defences and rights of set-off that it could raise pursuant to article 20. Such an agreement precludes the debtor from raising against the assignee those defences and rights of set-off.

2. The debtor may not exclude:

(a) Defences arising from fraudulent acts on the part of the

ができる。

3. 前二項の規定にかかわらず、債務者は、譲受人に対し、第11条に基づき債務者が譲渡人に対して主張することができる譲渡人の債権を譲渡する権利を制限するいかなる合意の違反に関する抗弁及び相殺の権利を主張することができない。

第21条 抗弁及び相殺権の放棄の合意

1. 債務者は、その署名のある書面により、譲渡人との間において、前条に基づき主張することができる抗弁及び相殺の権利を主張しないことを合意することができる。ただし、債務者の所在する国における、個人的、家族的又は日常的な目的の取引について債務者を保護する法律の適用を妨げない。この合意により、債務者は譲受人に対して当該抗弁及び相殺する権利を主張することができない。

2. 債務者は次の抗弁を放棄することができない。

(a) 譲受人側の詐欺的行為により

assignee; or

(b) Defences based on the debtor's incapacity.

3. Such an agreement may be modified only by an agreement in a writing signed by the debtor. The effect of such a modification as against the assignee is determined by article 22, paragraph 2.

Article 22 Modification of the original contract

1. An agreement concluded before notification of the assignment between the assignor and the debtor that affects the assignee's rights is effective as against the assignee and the assignee acquires corresponding rights.

2. After notification of the assignment, an agreement between the assignor and the debtor that affects the assignee's rights is ineffective as against the assignee unless:

(a) The assignee consents to it; or

(b) The receivable is not fully earned by performance and either the modification is provided for in the original contract or, in the context of the original contract, a rea-

生じる抗弁

(b) 債務者の制限能力に基づく抗弁

3. 第1項の合意は、債務者が署名した書面による合意によってのみ変更することができる。変更の譲受人に対する効果は、次条第2項により決定される。

第22条 原因契約の変更

1. 譲渡通知前の譲受人の権利に影響を与える譲渡人と債務者との間の合意は、譲受人に対して効力を有し、譲受人は、変更された権利を取得する。

2. 譲渡通知後の譲受人の権利に影響を与える譲渡人と債務者との間の合意は、次の場合を除き譲受人に対し効力を有さない。

(a) 譲受人が同意した場合

(b) 当該債権の履行が完全に終了していない場合において、原因契約により変更することができるとき又は原因契約の内容に照らし合理的な譲受人であれば変更合意するとき

sonable assignee would consent to the modification.

3. Paragraphs 1 and 2 of this article do not affect any right of the assignor or the assignee for breach of an agreement between them.

Article 23 Recovery of payments

Without prejudice to the law governing the protection of the debtor in transactions made for personal, family or household purposes in the State in which the debtor is located, failure of the assignor to perform the original contract does not entitle the debtor to recover from the assignee a sum paid by the debtor to the assignor or the assignee.

Section III

Other parties

Article 24 Law applicable to competing rights

1. With the exception of matters that are settled elsewhere in this Convention and subject to articles 25 and 26:

(a) With respect to the right of a competing claimant, the law of the State in which the assignor is located governs:

3. 前二項の規定は、譲渡人又は譲受人の合意の違反による権利に影響を及ぼさない。

第23条 支払の返還

債務者は、譲受人に対し、原因契約の履行についての譲渡人の過失によっては、譲渡人又は譲受人に支払った金銭の返還を求めることができない。ただし、債務者の所在する国における、個人的、家族的又は日常的な目的の取引について債務者を保護する法律の適用を妨げない。

第3節 他の当事者

第24条 競合する権利に関する準拠法

1. この条約に別段の定めがある場合を除き、次条及び第26条の規定に従い、

(a) 競合する権利主張者の権利に関して、譲渡人が所在する国の法律は、次の事項を規律する。

- | | |
|---|--|
| <p>(i) The characteristics and priority of the right of an assignee in the assigned receivable; and</p> <p>(ii) The characteristics and priority of the right of the assignee in proceeds that are receivables whose assignment is governed by this Convention[;]</p> <p>(b) With respect to the right of a competing claimant, the characteristics and priority of the right of the assignee in proceeds described below are governed by:</p> <p>(i) In the case of money or negotiable instruments not held in a bank account or through a securities intermediary, the law of the State in which such money or instruments are located;</p> <p>(ii) In the case of investment securities held through a securities intermediary, the law of the State in which the securities intermediary is located;</p> <p>(iii) In the case of bank deposits, the law of the State in which the bank is located[;]</p> | <p>(i) 譲渡される債権における譲受人の権利の特性及び優先権</p> <p>(ii) その譲渡がこの条約により規律される債権である proceeds における譲受人の権利の特性及び優先権</p> <p>(b) 競合する権利の主張者の権利に関して、以下で説明される proceeds における譲受人の権利の特性及び優先権は、次の事項により規律される。</p> <p>(i) 銀行勘定において又は証券仲介者を通じて保有されない金銭又は流通証券の場合、当該金銭又は証券の所在する国の法律</p> <p>(ii) 証券仲介者を通じて所有される投資証券の場合、当該証券仲介者の所在する国の法律</p> <p>(iii) 銀行預金の場合、当該銀行の所在する国の法律</p> |
|---|--|

and

- (iv) In the case of receivables whose assignment is governed by this Convention, the law of the State in which the assignor is located].

[(c) The existence and characteristics of the right of a competing claimant in proceeds described in paragraph 1 (b) of this article are governed by the law indicated in that paragraph]].

2. For the purposes of this article and article 31, the characteristics of a right are:

- (a) Whether it is a personal or property right; and
(b) Whether or not it is security for indebtedness or other obligation.

Article 25 Public policy and preferential rights

1. The application of a provision of the law of the State in which the assignor is located may be refused by a court or other competent authority only if that provision is manifestly contrary to the public policy of the forum State.

2. In an insolvency proceeding com-

- (iv) その譲渡がこの条約により規律される債権の場合、譲渡人が所在する国の法律]

[(c) 前号に掲げる proceeds における競合する権利主張者の権利の存在及び特性は、この項に規定する法律によって規律される。]]

2. この条及び第31条のために、権利の特性とは次の事項である。

- (a) 権利が人的権利であるか、物的権利であるか
(b) 権利が負債又は他の義務の担保であるか否か

第25条 公序及び優先的権利
(preferential right)

1. 裁判所その他の権限ある機関は、その条項が明らかに法定地国の公序に反する場合に限り、譲渡人が所在する国の法律の規定の適用を拒否することができる。

2. 譲渡人が所在する国とは異なる国

menced in a State other than the State in which the assignor is located, any preferential right that arises, by operation of law, under the law of the forum State and is given priority status over the rights of an assignee in insolvency proceedings under the law of that State may be given priority notwithstanding article 24. A State may deposit at any time a declaration identifying any such preferential right.

Article 26 Special proceeds rules

1. If proceeds are received by the assignee, the assignee is entitled to retain those proceeds to the extent that the assignee's right in the assigned receivable had priority over the right of a competing claimant in the assigned receivable.

2. If proceeds are received by the assignor, the right of the assignee in those proceeds has priority over the right of a competing claimant in those proceeds to the same extent as the assignee's right had priority over the right in the assigned receivable of those claimants if:

(a) The assignor has received the proceeds under instructions

において開始された倒産手続において、法廷地国の法律の下で生ずる法定の優先的権利及びその国の法律の下での倒産手続において譲受人の権利に優先する地位が与えられる優先的権利は、第24条の規定にかかわらず、優先権を与えられる。国は、かかる優先的権利を特定する宣言をいつでも寄託することができる。

第26条 proceeds に関する特則

1. proceeds を譲受人が受け取った場合において、譲渡される債権における当該譲受人の権利が譲渡される債権について競合する権利の主張者の権利に対して優先するときは、譲受人は、その proceeds を保持することができる。

2. proceeds を譲渡人が受け取った場合において、次のいずれも満たすときには、譲受人のその proceeds に対する権利は、譲受人の権利が競合する権利主張者の譲渡される債権についての権利に優先するのと同一の限度において、当該 proceeds について競合する権利主張者の権利に対して優先する。

(a) 譲渡人が、譲受人から、譲受人のために proceeds を保持するべき

from the assignee to hold the proceeds for the benefit of the assignee; and

(b) The proceeds are held by the assignor for the benefit of the assignee separately and are reasonably identifiable from the assets of the assignor, such as in the case of a separate deposit account containing only cash receipts from receivables assigned to the assignee.

Article 27 Subordination

An assignee entitled to priority may at any time subordinate its priority unilaterally or by agreement in favour of any existing or future assignees.

Chapter V

Autonomous conflict-of-laws rules

Article 28 Application of chapter V

The provisions of this chapter apply to matters that are:

(a) Within the scope of this Convention as provided in article 1, paragraph 4; and

(b) Otherwise within the scope of this Convention but not settled elsewhere in it.

指図に基づき

proceeds を受け取ったとき

(b) 譲渡人の保持する proceeds が、譲受人に譲渡される債権からの現金受入のみのための分離預金口座のように、譲渡人の資産から分離されかつ合理的に特定されて保持されるとき

第27条 順位の放棄又は譲渡 (Subordination)

優先権を持つ譲受人は、何時でも、一方的な意思表示又は合意により、現在又は将来の譲受人のためにその優先権を放棄又は譲渡することができる。

第5章 条約固有の牴触規定

第28条 第5章の適用

この章の条項は次の事項に適用される。

(a) 第1条第4項において規定されるこの条約の適用範囲に入る事項

(b) この条約の適用範囲に入るが、この条約の他の部分では解決されていない事項

Article 29 Law applicable to the mutual rights and obligations of the assignor and the assignee

1. The mutual rights and obligations of the assignor and the assignee arising from their agreement are governed by the law chosen by them.
2. In the absence of a choice of law by the assignor and the assignee, their mutual rights and obligations arising from their agreement are governed by the law of the State with which the contract of assignment is most closely connected.

Article 30 Law applicable to the rights and obligations of the assignee and the debtor

The law governing the original contract determines the effectiveness of contractual limitations on assignment as between the assignee and the debtor, the relationship between the assignee and the debtor, the conditions under which the assignment can be invoked against the debtor and any question whether the debtor's obligations have been discharged.

第29条 譲渡人と譲受人間の相互の権利及び義務の準拠法

1. 譲渡人と譲受人との合意から生じた相互の権利義務は、譲渡人及び譲受人によって選択された法律により規律される。
2. 譲渡人及び譲受人による法律の選択がない場合、譲渡人及び譲受人の合意より生じた相互の権利義務は、当該譲渡契約が最も密接な関連を有する国の法律によって規律される。

第30条 譲受人と債務者間の権利及び義務の準拠法

譲受人と債務者間の合意に対する契約による制限の効力、譲受人と債務者の関係、譲渡を債務者に主張できる条件及び債務者の免責如何に関する問題は、原因契約を規律する法律により定められる。

Article 31 Law applicable to competing rights of other parties

1. With the exception of matters that are settled elsewhere in this Convention and subject to articles 25 and 26:

(a) With respect to the right of a competing claimant, the law of the State in which the assignor is located governs:

(i) The characteristics and priority of the right of an assignee in the assigned receivable; and

(ii) The characteristics and priority of the right of the assignee in proceeds that are receivables whose assignment is governed by this Convention[;]

(b) With respect to the right of a competing claimant, the characteristics and priority of the right of the assignee in proceeds described below are governed by:

(i) In the case of money or negotiable instruments not held in a bank account or through a securities intermediary, the law of the State in

第31条 他の当事者との間の優先権に関する準拠法

1. この条約に別段の定めがある場合を除き、第25条及び第26条に従い、

(a) 競合する権利主張者の権利に関して、

譲渡人が所在する国の法律は、次の事項を規律する。

(i) 譲渡される債権における譲受人の権利の特性及び優先権

(ii) その譲渡がこの条約により規律される債権が伴う proceeds における譲受人の権利の特性及び優先権 [

(b) 競合する権利の主張者の権利に関して、

上述の proceeds における譲受人の権利の特性及び優先権は以下のものによって規律される。

(i) 銀行勘定において又は証券仲介者を通じて保有されない金銭若しくは流通証券の場合、当該金銭若しくは流通証券が所在する国の法律

which such money or instruments are located;

(ii) In the case of investment securities held through a securities intermediary, the law of the State in which the securities intermediary is located;

(iii) In the case of bank deposits, the law of the State in which the bank is located[; and

(iv) In the case of receivables whose assignment is governed by this Convention, the law of the State in which the assignor is located].

[(c) The existence and characteristics of the right of a competing claimant in proceeds described in paragraph 1 (b) of this article are governed by the law indicated in that paragraph]].

2. In an insolvency proceeding commenced in a State other than the State in which the assignor is located, any preferential right that arises, by operation of law, under the law of the forum State and is given priority status over the rights of an assignee in insolvency pro-

(ii) 証券仲介者を通じて保有される投資証券の場合、当該証券仲介者が所在する国の法律

(iii) 銀行預金の場合、当該銀行の所在する国の法律

[(iv) その譲渡がこの条約により規律される債権の場合、譲渡人が所在する国の法律]

[(c) 前号において説明される proceeds における競合する権利の主張者の権利の存在及び特性は、この項に規定する法律によって規律される。]]

2. 倒産手続が譲渡人の所在地国とは異なる国で開始された場合には、法律上当然に法廷地国法により生じ、法廷地国法により倒産手続において譲受人の権利に優先する地位を与えられた優先的権利は、前項の規定にかかわらず優先する。

ceedings under the law of that State may be given priority notwithstanding paragraph 1 of this article.

Article 32 Mandatory rules

1. Nothing in articles 29 and 30 restricts the application of the rules of the law of the forum State in a situation where they are mandatory, irrespective of the law otherwise applicable.

2. Nothing in articles 29 and 30 restricts the application of the mandatory rules of the law of another State with which the matters settled in those articles have a close connection if and in so far as, under the law of that other State, those rules must be applied irrespective of the law otherwise applicable.

Article 33 Public policy

With regard to matters settled in this chapter, the application of a provision of the law specified in this chapter may be refused by a court or other competent authority only if that provision is manifestly contrary to the public policy of the forum State.

第32条 強行法規

1. 第29条及び第30条の規定は、準拠法にかかわらず、法廷地国の強行法規の適用を妨げない。

2. 第29条及び第30条の規定は、これらの規定によって解決される事項について、かかる事項と密接な関係を有し、また、その限りにおいて、準拠法如何にかかわらず適用になる他の国の強行法規の適用を妨げない。

第33条 公序

この章で解決される事項に関し、この章で特定される法律条項の適用は、かかる規定が法廷地国の公序に明らかに反する場合には、裁判所又は他の権限を有する機関によって拒否されうる。

Chapter VI Final provisions

Article 34 Depositary

The Secretary-General of the United Nations is the depositary of this Convention.

Article 35 Signature, ratification, acceptance, approval, accession

1. This Convention is open for signature by all States at the Headquarters of the United Nations in New York, until [.....].

2. This Convention is subject to ratification, acceptance or approval by the signatory States.

3. This Convention is open to accession by all States that are not signatory States as from the date it is open for signature.

4. Instruments of ratification, acceptance, approval and accession are to be deposited with the Secretary-General of the United Nations.

Article 36 Application to territorial units

1. If a State has two or more territorial units in which different systems

第6章 最終条項

第34条 寄託者

国際連合事務総長をこの条約の寄託者とする。

第35条 署名、批准、受託、承認及び加入

1. この条約は、ニューヨークの国際連合本部において [...] まで全ての国に署名のために開放される。

2. この条約は、署名国によって批准、受託又は承認される。

3. この条約は、署名のために開放されたときから、非署名国に加入のために開放される。

4. 批准、受託、承認及び加入書は、国連事務総長に寄託されなくてはならない。

第36条 地域単位（注2）への適用

1. この条約で扱われる事項に関し、異なる法制度が適用される複数の地域

of law are applicable in relation to the matters dealt with in this Convention, it may, at any time, declare that this Convention is to extend to all its territorial units or only one or more of them, and may at any time substitute another declaration for its earlier declaration.

2. Such declarations are to state expressly the territorial units to which this Convention extends.

3. If, by virtue of a declaration under this article, this Convention does not extend to all territorial units of a State and the assignor or the debtor is located in a territorial unit to which this Convention does not extend, this location is considered not to be in a Contracting State.

4. If a State makes no declaration under paragraph 1 of this article, the Convention is to extend to all territorial units of that State.

[Article 37 *Applicable law in territorial units*

If a State has two or more territorial units whose law may govern a matter referred to in chapters IV and V of this Convention, a refer-

単位を有する国は、いつでもこの条約がすべて又は一部の地域単位に適用される旨宣言でき、いつでも従前の宣言と異なる宣言をすることができる。

2. 宣言には、この条約が適用になる地域単位を明示しなければならない。

3. この条に基づく宣言により、この条約が国のすべての地域単位に適用されるわけではなく、譲渡人若しくは債務者がこの条約の適用されない地域単位に所在する場合には、当該所在地は締約国には存在しないものとする。

4. 第1項に基づく宣言がない場合、この条約はその国のすべての地域単位に適用される。

[第37条 地域単位における準拠法

第4章及び第5章に規定する事項を規律する法律の行われる二以上の地域単位を有する国においては、それらの章における人又は財産が所在する国の

ence in those chapters to the law of a State in which a person or property is located means the law applicable in the territorial unit in which the person or property is located, including rules that render applicable the law of another territorial unit of that State. Such a State may specify by declaration at any time how it will implement this article.]

Article 38 Conflicts with other international agreements

1. This Convention does not prevail over any international agreement that has already been or may be entered into and that contains provisions concerning the matters governed by this Convention, provided that the assignor is located at the time of the conclusion of the contract of assignment in a State party to such agreement or, with respect to the provisions of this Convention that deal with the rights and obligations of the debtor, at the time of the conclusion of the original contract, the debtor is located in a State party to such agreement or the law governing the original contract is the law of a State party to

法律の指定は、人又は財産が所在する地域単位における準拠法の指定を意味する。ただし当該国の別の地域単位の法律を適用可能とする規定を含むことを妨げない。国は宣言によって、いつでもこの条の履行方法を明示することができる。]

第38条 他の国際約束との抵触

1. この条約は、譲渡人が譲渡契約の締結の時に当該国際約束の当事国に所在する場合（債務者の権利及び義務に関するこの条約の条項に関しては、債務者が原因契約の締結の時に当事国に所在する場合、又は原因契約を規律する法律が当事国の法律である場合）は、この条約が規律する事項に関する条項を含むいかなる既存の又は将来の国際約束にも優先しない。

such agreement.

2. Notwithstanding paragraph 1 of this article, this Convention prevails over the Unidroit Convention on International Factoring (“the Ottawa Convention”). If, at the time of the conclusion of the original contract, the debtor is located in a State party to the Ottawa Convention or the law governing the original contract is the law of a State party to the Ottawa Convention and that State is not a party to this Convention, nothing in this Convention precludes the application of the Ottawa Convention with respect to the rights and obligations of the debtor.

Article 39 Declaration on application of chapter V

A State may declare at any time that it will not be bound by chapter V.

Article 40 Limitations relating to Governments and other public entities

A State may declare at any time that it will not be bound or the extent to which it will not be bound

2. 前項にも関わらず、この条約は、譲渡人が譲渡契約締結時に国際ファクタリングに関するユニドロワ条約(「オタワ条約」)に優先する。この条約は、債務者が原因契約締結時にオタワ条約の当事国に所在する場合、又は原因契約を規律する法律がオタワ条約の当事国の法律である場合、そしてその国がこの条約の当事国でない場合、債務者の権利及び義務に関するオタワ条約の適用を妨げない。

第39条 第5章の適用に関する宣言

国は、いつでも第5章に拘束されない旨宣言することができる。

第40条 政府その他の公的機関に関する制限

国は、いつでも、譲渡される債権の支払を担保する人的又は物的な権利を設定した債務者その他の者が、原因契

by articles 11 and 12 if the debtor or any person granting a personal or property right securing payment of the assigned receivable is located in that State at the time of the conclusion of the original contract and is a Government, central or local, any subdivision thereof, or an entity constituted for a public purpose. If a State has made such a declaration, articles 11 and 12 do not affect the rights and obligations of that debtor or person. A State may list in a declaration the types of entity that are the subject of a declaration.

[Article 41 *Other exclusions*]

1. A State may declare at any time that it will not apply this Convention to types of assignment or to the assignment of categories of receivables listed in a declaration. In such a case, this Convention does not apply to such types of assignment or to the assignment of such categories of receivables if the assignor is located at the time of the conclusion of the contract of assignment in such a State or, with respect to the provisions of this Convention that deal with the rights and obliga-

約を締結した時その国に所在しており、かつ政府、中央若しくは地方の機関、その下部組織又は公の目的のために設立された機関である場合に第11条及び第12条に拘束されない旨、又は拘束されない範囲を宣言することができる。国がこの宣言をした場合、第11条及び第12条は、当該債務者その他の者の権利及び義務に影響を及ぼさない。国は、宣言の対象となる法主体の類型を宣言中に掲げることができる。

[第41条 他の除外事項]

1. 国は、いつでも宣言中に掲げた種類の譲渡、又は宣言中に掲げた種類の債権の譲渡にこの条約を適用しない旨宣言することができる。そのような場合には、譲渡人が譲渡契約の締結の時にその国に所在するか、債務者の権利及び義務を扱うこの条約の条項については債務者が原因契約の締結の時にその国に所在するとき、又は原因契約を規律する法律がその国の法律であるとき、この条約はその種類の譲渡又はその種類の債権の譲渡に適用しない。

tions of the debtor, at the time of the conclusion of the original contract, the debtor is located in such a State or the law governing the original contract is the law of such a State.

2. After a declaration under paragraph 1 of this article takes effect:

(a) This Convention does not apply to such types of assignment or to the assignment of such categories of receivables if the assignor is located at the time of the conclusion of the contract of assignment in such a State; and

(b) The provisions of this Convention that affect the rights and obligations of the debtor do not apply if, at the time of the conclusion of the original contract, the debtor is located in such a State or the law governing the receivable is the law of such a State.]

Article 42 Application of the annex

1. A State may at any time declare that it will be bound by:

(a) The priority rules set forth in section I of the annex and will participate in the international registration system established pursu-

2. 前項に基づく宣言は、次の効力を生じる。

(a) この条約は、譲渡人が譲渡契約締結時にそのような国に所在する場合、その種類の譲渡又はその種類の債権の譲渡に適用されない。

(b) 債務者の権利義務に影響するこの条約の条項は、原因契約締結時に債務者がそのような国に所在し、又は債権を規律する法がそのような国の法である場合、適用されない。]

第42条 附属書の適用

1. 国は、いつでも次のいずれかによって拘束されることを宣言することができる。

(a) 附属書第1部に規定する優先関係の規則に拘束され、附属書第2部に基づき設立される国際登録システム

ant to section II of the annex;

(b) The priority rules set forth in section I of the annex and will effectuate such rules by use of a registration system that fulfils the purposes of such rules, in which case, for the purposes of section I of the annex, registration pursuant to such a system has the same effect as registration pursuant to section II of the annex;

(c) The priority rules set forth in section III of the annex;

(d) The priority rules set forth in section IV of the annex; or

(e) The priority rules set forth in articles 7 and 8 of the annex.

2. For the purposes of article 24:

(a) The law of a State that has made a declaration pursuant to paragraph 1 (a) or (b) of this article is the set of rules set forth in section I of the annex;

(b) The law of a State that has made a declaration pursuant to paragraph 1 (c) of this article is the set of rules set forth in section III of the annex;

(c) The law of a State that has made a declaration pursuant to paragraph 1 (d) of this article is the

に参加すること

(b) 附属書第1部に規定する優先関係の規則に拘束され、かかる規則の目的を満たす登録システムを用いることにより、その優先関係の規則を実施すること。この場合において、附属書第1部の適用上、そのシステムに基づく登録は、附属書第2部に基づく登録と同様の効力を有する。

(c) 附属書第3部に規定する優先関係の規則

(d) 附属書第4部に規定する優先関係の規則

(e) 附属書第7条及び第8条に規定する優先関係の規則

2. 第24条の適用上、

(a) 前項(a)又は(b)に基づく宣言を行なう国の法律とは、附属書第1部に規定する規則をいう。

(b) 前項(c)に基づく宣言を行なう国の法律とは、附属書第3部に規定する規則をいう。

(c) 前項(d)に基づく宣言を行なう国の法律とは、附属書第4部に規定する規則をいう。

set of rules set forth in section IV of the annex; and

(d) The law of a State that has made a declaration pursuant to paragraph 1 (e) of this article is the set of rules set forth in articles 7 and 8 of the annex;

3. A State that has made a declaration pursuant to paragraph 1 of this article may establish rules pursuant to which assignments made before the declaration takes effect become subject to those rules within a reasonable time.

4. A State that has not made a declaration pursuant to paragraph 1 of this article may, in accordance with priority rules in force in that State, utilize the registration system established pursuant to section II of the annex.

5. At the time a State makes a declaration pursuant to paragraph 1 of this article or thereafter, it may declare that it will not apply the priority rules chosen under paragraph 1 of this article to certain types of assignment or to the assignment of certain categories of receivables.

(d) 前項 (e) に基づく宣言を行なう国の法律とは、附属書第 7 条及び第 8 条に規定する規則をいう。

3. 第 1 項に基づく宣言を行なう国は、宣言が効力を生じるより前にされた譲渡が、合理的な期間内に、これらの規則に従うこととする規則を定めることができる。

4. 第 1 項に基づく宣言を行っていない国は、その国で有効な優先関係の規則に従い、附属書第 2 部に基づき設立した登録システムを用いることができる。

5. 国が第 1 項に基づく宣言を行なう時又はその後、その国は、第 1 項の下で選択される優先関係の規則を、一定の種類の譲渡又は一定の種類債権の譲渡には適用しない旨宣言することができる。

Article 43 Effect of declaration

1. Declarations made under articles 36, paragraph 1, 37 or 39 to 42 at the time of signature are subject to confirmation upon ratification, acceptance or approval.
2. Declarations and confirmations of declarations are to be in writing and to be formally notified to the depositary.
3. A declaration takes effect simultaneously with the entry into force of this Convention in respect of the State concerned. However, a declaration of which the depositary receives formal notification after such entry into force takes effect on the first day of the month following the expiration of six months after the date of its receipt by the depositary.
4. A State that makes a declaration under articles 36, paragraph 1, 37 or 39 to 42 may withdraw it at any time by a formal notification in writing addressed to the depositary. Such withdrawal takes effect on the first day of the month following the expiration of six months after the date of the receipt of the notification by the depositary.

第43条 宣言の効果

1. 第36条第1項又は第37条又は第39条から第42条までに基づいて署名の際に行なわれた宣言は、批准、受諾又は承認により確認されなければならない。
2. 宣言及び宣言の確認は、書面で公式に寄託者に通報されなければならない。
3. 宣言は、関係国に対して、条約の発効と同時に効力を生じる。寄託者が発効後に公式な速報を受領した場合は、宣言は、寄託者の受領後6か月の期間が経過した翌月の最初の日に効力を生じる。
4. 第36条第1項又は第37条又は第39条から第42条までに基づく宣言を行った国は、寄託者に宛てた書面による通報により、いつでも当該宣言を撤回することができる。撤回は、寄託者の受領後6か月の期間が経過した翌月の最初の日に効力を生じる。

5. In the case of a declaration under articles 36, paragraph 1, 37 or 39 to 42 that takes effect after the entry into force of this Convention in respect of the State concerned or in the case of a withdrawal of any such declaration, the effect of which in either case is to cause a rule in this Convention, including any annex, to become applicable:

(a) Except as provided in paragraph 5 (b) of this article, that rule is applicable only to assignments for which the contract of assignment is concluded on or after the date when the declaration or withdrawal takes effect in respect of the Contracting State referred to in article 1, paragraph 1 (a);

(b) A rule that deals with the rights and obligations of the debtor applies only in respect of original contracts concluded on or after the date when the declaration or withdrawal takes effect in respect of the Contracting State referred to in article 1, paragraph 3.

6. In the case of a declaration under articles 36, paragraph 1, 37 or 39 to 42 that takes effect after the entry into force of this Convention in

5. 関係国に対して、条約の発効後効力を生じる第36条第1項又は第37条又は第39条から第42条までに基づく宣言又はその撤回においては、その効力はいずれの場合においても附属書を含むこの条約の規則を適用されることとすることができる。

(a) 次号に定める場合を除き、第1条第1項(a)にいう締約国に対して、宣言又は撤回が効力を生じた日又はその日以降に締結された譲渡契約による譲渡についてのみ、その規則は適用される。

(b) 第1条第3項にいう締約国に対して、宣言又は撤回が効力を生じた日又はその日以降に締結された原因契約についてのみ、債務者の権利及び義務を扱う規則は適用される。

6. 関係国に対して、条約の発効後効力を生じる第36条第1項又は第37条又は第39条から第42条までに基づく宣言又はその撤回においては、その効力は

respect of the State concerned or in the case of a withdrawal of any such declaration, the effect of which in either case is to cause a rule in this Convention, including any annex, to become inapplicable:

(a) Except as provided in paragraph 6 (b) of this article, that rule is inapplicable to assignments for which the contract of assignment is concluded on or after the date when the declaration or withdrawal takes effect in respect of the Contracting State referred to in article 1, paragraph 1 (a);

(b) A rule that deals with the rights and obligations of the debtor is inapplicable in respect of original contracts concluded on or after the date when the declaration or withdrawal takes effect in respect of the Contracting State referred to in article 1, paragraph 3.

7. If a rule rendered applicable or inapplicable as a result of a declaration or withdrawal referred to in paragraph 5 or 6 of this article is relevant to the determination of priority with respect to a receivable for which the contract of assignment is concluded before such dec-

いずれの場合においても附属書を含むこの条約の規則を適用されないこととすることができる。

(a) 次号に定める場合を除き、第1条第1項(a)にいう締約国に対して、宣言又は撤回が効力を生じた日又はその日以降に締結された譲渡契約による譲渡について、その規則は適用されない。

(b) 第1条第3項にいう締約国に対して、宣言又は撤回が効力を生じた日又はその日以降に締結された原因契約について、債務者の権利及び義務を扱う規則は適用されない。

7. 第5項又は第6項に規定する宣言又は撤回の結果、適用されることとされた、又は適用されないこととされた規則が、その宣言又は撤回が効力を生じる前に締結された譲渡契約の債権に関して、又は proceeds に関して、優先権の決定に関係がある場合、譲受人の権利は、その宣言又は撤回の前に優

laration or withdrawal takes effect or with respect to its proceeds, the right of the assignee has priority over the right of a competing claimant to the extent that, under the law that would determine priority before such declaration or withdrawal takes effect, the right of the assignee would have priority.

Article 44 Reservations

No reservations are permitted except those expressly authorized in this Convention.

Article 45 Entry into force

1. This Convention enters into force on the first day of the month following the expiration of six months from the date of deposit of the fifth instrument of ratification, acceptance, approval or accession with the depositary.

2. For each State that becomes a Contracting State to this Convention after the date of deposit of the fifth instrument of ratification, acceptance, approval or accession, this Convention enters into force on the first day of the month following the expiration of six months after

先権を決定する法律に基づき、それが優先権を有する限度で競合する権利の主張者の権利に優先する。

第44条 留保

この条約において、明示の規定がある場合を除き、留保は認められない。

第45条 発効

1. この条約は、寄託者への批准、受諾、承認又は加入についての第5番目の文書の寄託日から6か月が経過した翌月の初日に効力を生じる。

2. 批准、受諾、承認又は加入についての第五番目の文書の寄託日以後、この条約の締約国となる国に対しては、この条約は、当該国の名で適式な文書で寄託された日から6か月が経過した翌月の初日に効力を生じる。

the date of deposit of the appropriate instrument on behalf of that State.

3. This Convention applies only to assignments if the contract of assignment is concluded on or after the date when this Convention enters into force in respect of the Contracting State referred to in article 1, paragraph 1 (a), provided that the provisions of this Convention that deal with the rights and obligations of the debtor apply only to assignments of receivables arising from original contracts concluded on or after the date when this Convention enters into force in respect of the Contracting State referred to in article 1, paragraph 3.

4. If a receivable is assigned pursuant to a contract of assignment concluded before the date when this Convention enters into force in respect of the Contracting State referred to in article 1, paragraph 1 (a), the right of the assignee has priority over the right of a competing claimant with respect to the receivable and its proceeds to the extent that, under the law that would determine priority in the

3. この条約で債務者の権利義務を規定する条項が、第1条第3項にいう締約国に関してこの条約の効力が発生した日以後に締結された原因契約から生じる債権の譲渡にのみ適用される場合、第1条第1項(a)にいう締約国に関してこの条約の効力が発生した日以後に譲渡契約が締結されるとき、この条約は譲渡にのみ適用される。

4. 第1条第1項(a)にいう締約国に関してこの条約の効力が発生する日の前に締結された譲渡契約にしたがって債権が譲渡される場合、譲受人の権利は、この条約が存在しないとき優先関係を決定する法律のもとで譲受人の権利が優先する範囲で、債権及びそのproceedsに関して競合する権利の主張者の権利に優先する。

absence of this Convention, the right of the assignee would have priority.

Article 46 Denunciation

1. A Contracting State may denounce this Convention at any time by written notification addressed to the depositary.

2. The denunciation takes effect on the first day of the month following the expiration of one year after the notification is received by the depositary. Where a longer period is specified in the notification, the denunciation takes effect upon the expiration of such longer period after the notification is received by the depositary.

3. This Convention remains applicable to assignments if the contract of assignment is concluded before the date when the denunciation takes effect in respect of the Contracting State referred to in article 1, paragraph 1 (a), provided that the provisions of this Convention that deal with the rights and obligations of the debtor remain applicable only to assignments of receivables arising from original

第46条 廃棄

1. 締約国は、寄託者に宛てた書面による通告により、いつでもこの条約を廃棄することができる。

2. 廃棄は、寄託者が通告を受領してから1年が経過した翌月の初日に効力を生じる。より長期の期間が通告中に明定されている場合は、廃棄は、通告が寄託者に受領された後、より長期の期間が経過することにより効力を生じる。

3. この条約で債務者の権利義務を規定する条項が、第1条第3項にいう締約国に関して廃棄が効力を発生する日の前に締結された原因契約から生じる債権の譲渡にのみ、なお適用することができる場合、第1条第1項(a)にいう締約国に関して廃棄が効力を発生する日の前に譲渡契約が締結されるとき、この条約は、なお譲渡に適用することができる。

contracts concluded before the date when the denunciation takes effect in respect of the Contracting State referred to in article 1, paragraph 3.

4. If a receivable is assigned pursuant to a contract of assignment concluded before the date when the denunciation takes effect in respect of the Contracting State referred to in article 1, paragraph 1 (a), the right of the assignee has priority over the right of a competing claimant with respect to the receivable and its proceeds to the extent that, under the law that would determine priority under this Convention, the right of the assignee would have priority.

Article 47 Revision and amendment

1. At the request of not less than one third of the Contracting States to this Convention, the depositary shall convene a conference of the Contracting States for revising or amending it.

2. Any instrument of ratification, acceptance, approval or accession deposited after the entry into force of an amendment to this Conven-

4. 第1条第1項(a)にいう締約国に関して廃棄が効力を発生する日の前に締結された譲渡契約にしたがって債権が譲渡される場合、譲受人の権利は、この条約において優先関係を決定する法律のもとで譲受人の権利が優先する範囲で、債権及びその proceeds について競合する権利の主張者の権利に優先する。

第47条 改訂及び修正

1. この条約の締約国のうち、少なくともその3分の1以上の要求で、寄託者は、この条約の改訂又は修正のために、締約国会議を招集しなければならない。

2. この条約の修正の発効後に寄託された、批准、受諾、承認又は加入についてのすべての文書は、修正された条約に対するものとみなす。

tion is deemed to apply to the Convention as amended.

Annex to the draft convention

Section I

Priority rules based on registration

Article 1 Priority among several assignees

As between assignees of the same receivable from the same assignor, the priority of the right of an assignee in the assigned receivable and its proceeds is determined by the order in which data about the assignment are registered under section II of this annex, regardless of the time of transfer of the receivable. If no such data are registered, priority is determined by the order of the conclusion of the respective contracts of assignment.

Article 2 Priority between the assignee and the insolvency administrator or creditors of the assignor

The right of an assignee in an assigned receivable and its proceeds has priority over the right of an insolvency administrator and credi-

附属書

第 1 部 登録に基づく優先関係の規則

第 1 条 複数の譲受人間の優先関係

同一の譲渡人から同一の債権を譲り受けた者においては、譲渡される債権及びその proceeds に対する譲受人の権利の優先関係は、債権の移転の時にかかわらず、この附属書第 2 部にに基づき、譲渡に関するデータが登録された順序によって決定される。データが登録されていない場合、優先関係は各譲渡契約の締結の順序によって決定される。

第 2 条 譲受人と譲渡人の倒産管財人又は債権者との間の優先関係

倒産手続の開始、差押、裁判上の行為又は権限を有する機関による類似の行為の前に、債権が譲渡され、かつ譲渡に関するデータがこの附属書第 2 部

tors who obtain a right in the assigned receivable or its proceeds by attachment, judicial act or similar act of a competent authority that gives rise to such right, if the receivable was assigned, and data about the assignment were registered under section II of this annex, before the commencement of the insolvency proceeding, attachment, judicial act or similar act.

Section II Registration

Article 3 Establishment of a registration system

A registration system will be established for the registration of data about assignments, even if the relevant assignment or receivable is not international, pursuant to the regulations to be promulgated by the registrar and the supervising authority. Regulations promulgated by the register and the supervising authority under this annex shall be consistent with this annex. The regulations will prescribe in detail the manner in which the registration system will operate, as well as the procedure for resolving disputes

に基づき登録された場合、譲渡される債権及びその proceeds に対する譲受人の権利は、倒産管財人の権利及び差押、裁判上の行為又は類似の行為によって、譲渡される債権又はその proceeds に対して権利を取得した債権者の権利に優先する。

第2部 登録

第3条 登録システムの設立

譲渡又は債権が国際的なものではなくても、登録機関及び監督機関が制定する規則に従い、譲渡に関するデータの登録のための登録システムが設立される。この附属書に基づき登録機関及び監督機関が制定する規則は、この附属書に沿うものとなる。その規則は、登録システムを実施する方法及び実施に関する紛争を解決するための手続の細則を定める。

relating to that operation.

Article 4 Registration

1. Any person may register data with regard to an assignment at the registry in accordance with this annex and the regulations. As provided in the regulations, the data registered shall be the identification of the assignor and the assignee and a brief description of the assigned receivables.

2. A single registration may cover one or more assignments by the assignor to the assignee of one or more existing or future receivables, irrespective of whether the receivables exist at the time of registration.

3. A registration may be made in advance of the assignment to which it relates. The regulations will establish the procedure for the cancellation of a registration in the event that the assignment is not made.

4. Registration or its amendment is effective from the time when the data set forth in paragraph 1 of this article are available to searchers. The registering party may specify,

第 4 条 登録

1. 何人も、この附属書と規則に従い、登録機関に譲渡に関するデータを登録することができる。規則に基づき、登録されたデータは、譲渡人及び譲受人を特定し、かつ譲渡される債権を簡潔に記載するものでなければならない。

2. 債権が登録時に存在しているかどうかにかかわらず、一の登録は、譲渡人の譲受人に対する既存の又は将来の債権の一又は複数の譲渡を含むことができる。

3. 登録は関係する譲渡の前に行うことができる。規則は譲渡がなされなかった場合における登録の取消のための手続を確立する。

4. 登録又はその修正は、検索する者が第 1 項のデータを得ることができる時から有効となる。登録する者は、規則に基づく選択に従い、登録の有効期間を定めることができる。この定め

from options set forth in the regulations, a period of effectiveness for the registration. In the absence of such a specification, a registration is effective for a period of five years.

5. Regulations will specify the manner in which registration may be renewed, amended or cancelled and regulate such other matters as are necessary for the operation of the registration system.

6. Any defect, irregularity, omission or error with regard to the identification of the assignor that would result in data registered not being found upon a search based on a proper identification of the assignor renders the registration ineffective.

Article 5 Registry searches

1. Any person may search the records of the registry according to identification of the assignor, as set forth in the regulations, and obtain a search result in writing.

2. A search result in writing that purports to be issued by the registry is admissible as evidence and is, in the absence of evidence to the contrary, proof of the registration of

ない場合、登録は5年間有効である。

5. 規則は、登録の更新、修正及び消除の方法並びにその他の登録制度の実施に必要な事項を定める。

6. 譲渡人の特定に関する欠陥、異常、遺漏又は過誤により、譲渡人の正確な特定による検索では登録されたデータを発見できないこととなる場合、その登録は無効となる。

第5条 登録の検索

1. 何人も、規則に基づき、譲渡人を特定することにより登録機関の記録を検索し、書面により検索の結果を得ることができる。

2. 登録機関が発行する書面による検索の結果は証拠とすることができ、反対の証拠のない限り、登録の日と時を含む検索に関するデータを証明する。

the data to which the search relates, including the date and hour of registration.

Section III

Priority rules based on the time of the contract of assignment

Article 6 Priority among several assignees

As between assignees of the same receivable from the same assignor, the priority of the right of an assignee in the assigned receivable and its proceeds is determined by the order of the conclusion of the contract of assignment.

Article 7 Priority between the assignee and the insolvency administrator or creditors of the assignor

The right of an assignee in an assigned receivable and its proceeds has priority over the right of an insolvency administrator and creditors who obtain a right in the assigned receivable or its proceeds by attachment, judicial act or similar act of a competent authority that gives rise to such right, if the receiv-

第3部 譲渡契約の時に基づく優先関係の規則

第6条 複数の譲受人間の優先関係

同一の譲渡人から同一の債権を譲り受けた者の間においては、譲渡される債権及びその proceeds に対する譲受人の権利の優先関係は、譲渡契約の締結の順序によって決定される。

第7条 譲受人と譲渡人の倒産管財人又は債権者間の優先関係

倒産手続の開始、差押、裁判上の行為又は権限を有する機関による類似の行為の前に、債権が譲渡された場合、譲渡される債権及びその proceeds に対する譲受人の権利は、倒産管財人の権利及び差押、裁判上の行為又は類似の行為によって、譲渡される債権又はその proceeds に対して権利を取得した債権者の権利に優先する。

able was assigned before the commencement of such insolvency proceeding, attachment, judicial act or similar act.

Section IV

Priority rules based on the time of notification of assignment

Article 8 Priority among several assignees

As between assignees of the same receivable from the same assignor, the priority of the right of an assignee in the assigned receivable and its proceeds is determined by the order in which notification of the assignment is effected.

Article 9 Priority between the assignee and the insolvency administrator or creditors of the assignor

The right of an assignee in an assigned receivable and its proceeds has priority over the right of an insolvency administrator and creditors who obtain a right in the assigned receivable or its proceeds by attachment, judicial act or similar act of a competent authority that

第4部 譲渡通知の時に基づく優先関係の規則

第8条 複数の譲受人間の優先関係

同一の譲渡人から同一の債権を譲り受けた者の間においては、譲渡される債権とその proceeds に対する譲受人の権利の優先関係は、譲渡通知がなされた順序によって決定される。

第9条 譲受人と譲渡人の倒産管財人又は債権者間の優先関係

倒産手続の開始、差押、裁判上の行為又は権限を有する機関による類似の行為の前に、債権が譲渡され、かつ通知がなされた場合、譲渡される債権とその proceeds に対する譲受人の権利は、倒産管財人の権利及び差押、裁判上の行為又は類似の行為によって、譲渡される債権とその proceeds に対し

gives rise to such right, if the receivable was assigned and notification was effected before the commencement of such insolvency proceeding, attachment, judicial act or similar act.

て権利を取得した債権者の権利に優先する。

(注1) proceeds とは一般的に、収益、売得金、売上収入などと訳され、その内容は、「現金であるか、他の有価物であるかにかかわらず、ある物の代価としてあるいは対価として受領するもの。例えば、財産からの収入、生産物または利益とか、財産の売買によって取得した代金、代金債権やそれをもって構成される基金をさす」と説明される(鴻巣夫=北沢正啓編『英米商事法辞典 [新版]』745頁(1998年・商事法務研究会))。proceeds は英米法では良く知られた概念であるが、大陸法の債権譲渡にはこの概念が存在しないため、UNCITRAL の作業部会でも、積極的に規定を置こうとする米・英・カナダと消極的な仏・独・日の間でしばしば議論になった。わが国では未だ定訳と言えるものがないと判断して、本稿においては以下特別の訳語を用いず、proceeds のままとする。

(注2) territorial units という言葉は、「法域」と訳すことも可能であるが、例えば、1996年にハーグ国際私法会議により採択された「親責任及び子の保護措置に関する管轄権、準拠法、承認、執行及び協力に関する条約」(未発効)の第47条では、この言葉は、準拠法の属する地域だけでなく、管轄権の属する地域をも意味する言葉として用いられている。Rapport explicatif de Paul Lagarde, Conférence de La Haye de droit international privé, Actes et Documents de la Dix-huitième session(1996) t. II (1998) pp. 598-599. 従来準拠法の属する地域だけを意味するものとして用いられてきた「法域」という言葉とこの言葉を区別する意味で、ここではあえて「地域単位」という訳を採用した。